

合成樹脂事業

独自の戦略商品の拡販、
カーボンニュートラルに向けた
取り組みを推進します



上席執行役員
山脇 一公

JSRグループのテクノUMG株式会社は、1963年に国内で初めてABS樹脂の生産を開始した会社のDNAを持ち、現在では、国内シェア50%を超えるトップメーカーとなっています。当部門の2023年度の業績は、原料価格の高騰や市場が軟調に推移した結果、減収減益となりました。

主要販売先である自動車業界では、EV化、軽量化や多機能化、環境負荷低減が求められる中、当社独自の戦略商品は、自動車部品に広く採用されています。このような機能性に特徴を持つ商品を拡販するとともに、原料・燃料価格の高騰への適切な対応により、利益の確保を図ります。また、2050年のカーボンニュートラルの達成に向け、工場におけるCO₂排出量の少ない燃料への転換や、製品のリサイクル、環境負荷の少ない製品の開発・販売などに取り組んでいきます。

高機能系樹脂

事業の強み

- 独自技術による戦略商品の開発
- 広く深く市場を開拓するマーケティング力
- グローバルに対応可能な販売拠点とSCM体制
- サークュラーエコノミー推進による製品ライフサイクル構築
- バイオマス原料の素材研究・開発

事業環境認識

- 自動車生産台数の回復
- 自動車のEV化、軽量化、環境負荷軽減ニーズの高まり

環境循環型系樹脂

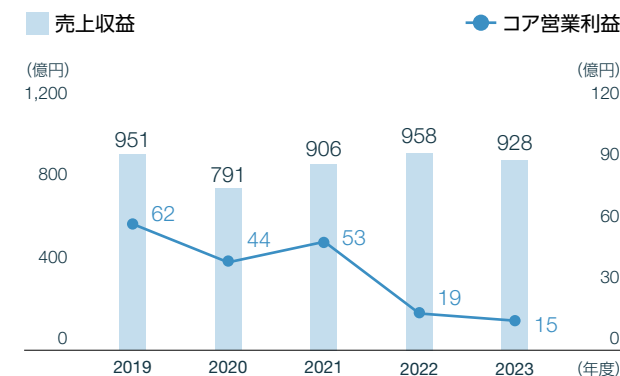
事業の強み

- サークュラーエコノミー推進による製品ライフサイクル構築
- バイオマス原料の素材研究・開発

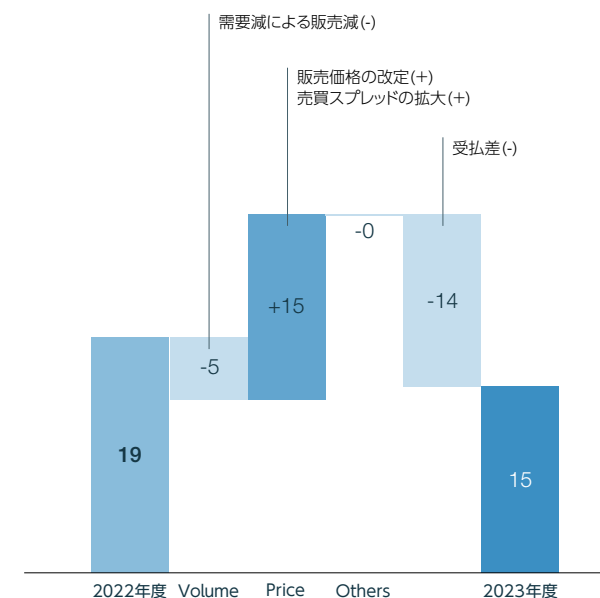
事業環境認識

- カーボンニュートラル、脱炭素社会への要請
- 生物多様性への対応

売上収益／コア営業利益



コア営業利益差異分析(億円)





成長戦略

ABS樹脂のリーディングカンパニーとして
戦略製品のさらなる拡販に注力

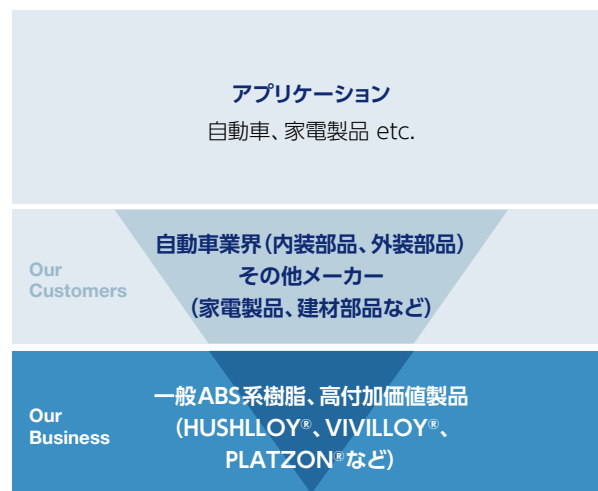
テクノUMG株式会社では、独自の技術・開発力で創りあげた高い機能性を持つ材料の供給を通じて、お客様および社会の課題解決に貢献しています。たとえば、きしみ音を抑制する材料や、高い耐候性を持ち長く使用できる材料、ゴムのようにグリップ力が増す材料など、従来では

実現できなかった高機能な材料を開発しています。今後も、引き続き、社会課題解決に貢献する材料の開発にチャレンジしていきます。



製品や技術についての詳細は、
テクノUMG株式会社のHPをご覧ください。
<https://www.t-umg.com/>

JSRのポジション



製品ラインナップ



一般ABS系樹脂



きしみ音対策材 HUSHLLOY®



めっき用材料 PLATZON®



高発色性材料 VIVILLOY®

脱炭素社会に向けての取り組み

脱炭素社会移行への要請は、日増しに大きくなる中、カーボンニュートラル実現に向けて、マイルストーンを設定し、全部門・全世代の社員が一丸となって取り組みを推進しています。テクノUMGでは、2050年カーボンニュートラルの実現を目指したプロジェクトを推進しています。また、生産時に排出されるCO₂削減に向けて、燃料転換、再生可能エネルギー利用を検討しています。



テクノUMGの製造拠点。宇部事業所 (左上)、大竹事業所 (右上)、四日市事業所 (左下)

新市場開拓と触感改良材料

新市場の開拓に向けて、ロボット向け樹脂材料を展示会に出展しました。独自のポリマー配合技術により開発した、触って心地良いソフトな手触りの「触感改良材料」は、ABS樹脂の特長である良好な成形性を維持したまま、樹脂の硬さやエラストマー特有のべたつきを改良し滑らかで柔らかな触感を付与しており、ロボット市場で幅広い用途が見込まれます。多様な機能性を付与した材料により、今後成長が見込まれるロボット市場への供給拡大を目指します。



意匠性を付与した成形品